教科目標

医療福祉総合学科（昼間２年制）

養成目的

本学科は「実学教育」「人間教育」「国際教育」の建学の理念に基づき、医療と福祉の基礎を学び、目指す将来に合った領域（「医療秘書・クラーク専攻」「健康リハビリ専攻」）に分かれて専門性を取得し、病院・福祉関連施設における事務や健康運動指導の立場で貢献できる人材を育成することを目的とする。

教育目的

本学科は、2 年間の学生生活の中で各専攻の専門的な知識を身につけると同時に、生活態度や身だしなみ、接遇マナーなどの人間力をしっかりと身につけた人材を育成していくことである。また、誠意と責任を備え、自己研鑽に励む医療福祉従事者を育てることを目的とする。

学年（学期）目標

学年	到達目標
1 年次	・医療と福祉の学習を通して、医療福祉従事者に必要な基礎能力を育成する。 ・社会人として必要な身だしなみ、接遇マナーやコミュニケーションのとり方など、学校生活や行事を通じて態度を身に付ける。

前期	・人や健康に対する関心や医療福祉従事者として地域社会に貢献したいという意欲を育む。 ・準備、片付けなどが率先して行動でき、挨拶や礼儀作法などの接遇を身に付ける。 ・社会人として必要な体調、時間、情意などの自己管理能力を身に付ける。 ・医療福祉従事者として、必要な医療・福祉の知識及びパソコン操作を習得する。 ・資格習得に向けての準備を行う。
後期	・医療福祉従事者として必要な目配り、気配り、心配りを持つ。 ・各専攻に応じた資格を取得できる。 ・チーム医療に必要な協調性やコミュニケーション力を身に付ける。

学年	到達目標
2 年次	・人間への深い関心と尊厳をもって、医療福祉従事者としての基礎的な能力を身につけ、実際に活用することができる。 ・各専門領域に特化した調査・研究を実践できる。 ・各専攻に応じた資格を取得できる。 ・学外実習において実習生としての態度を考え、現場にふさわしい立ち居振る舞いをできるようにする。

前期	・各専攻の専門性を深めていき、各種資格を取得できる知識を身につける。 ・現場実習地における業務理解について学習する。

後期	・実習に適した姿勢や態度を身に付け、自己管理能力をより高める。 ・各専攻に応じた資格を取得できる。

取得目標資格

医療秘書技能検定 2 級・3 級、医療事務（医科）能力検定試験 1 級・2 級・3 級、メディカル クラーク®、メディカル・フロント・コンシェルジュ、ドクターズ クラーク®、介護福祉士実務者研修、介護予防運動トレーナー、初級パラスポーツ指導員、ウォーキングトレーナー、健康ケアトレーナー、健康運動実践指導者　等

就職分野

病院、クリニック等の医療機関、調剤薬局、福祉関連施設、デイサービスセンター、スポーツ関連企業、医療福祉機器メーカー　等

職種

医療事務、医事課スタッフ、外来・病棟クラーク、医師事務作業補助者、調剤受付、施設事務
健康運動指導士、介護予防運動トレーナー、初級パラスポーツ指導員、介護職、生活支援員　等